

平成 30 年 度

事 業 報 告 書

公益財団法人 新潟県健康づくり財団

平成30年度事業報告書

概 況

平成30年度事業の実施に当たっては、前年度に引き続き、県民の健康づくりの中核として健康診査事業をはじめとする各種保健事業を効果的に推進した。

さらに、健康寿命の延伸が課題となっていることから、普及啓発事業やがん対策事業等についても積極的に取組を行った。

1 普及啓発事業

特定健診・特定保健指導及び各種がん検診の受診勧奨のための広告について、年齢層に合わせた媒体として新聞広告のほかにラジオ広告を活用し、定期的にスポットCMを放送した。

また、子育て世代の女性を主なターゲットとして、フリーマガジン「はっぴーママ」に広告を掲載したほか、通勤等による電車利用者をターゲットとして、県内エリアのJR電車内のモニターにがん検診の受診勧奨電子広告を掲載し、受診率向上に努めた。

さらに、TeNYの「24時間テレビチャリティブース」に出展し、乳がん病巣モデルによるセルフチェック体験や血管年齢測定等により、広く県民に対し生活習慣病に関する啓発を行った。

一般住民を対象とした啓発では、見附市・五泉市・十日町市・阿賀町と共催で生活習慣病予防等に関する講演会を開催し、予防知識の普及啓発に努めた。

2 研究研修事業等

新潟県がん検診研究会及び新潟県糖尿病対策推進会議主催による特別講演及びシンポジウムを行った。

また、検診体制の整備、検診精度の向上については、検診従事職員に対する乳がん検診、胃がん検診の各セミナー及び細胞診研修会を開催するとともに、禁煙対策を推進するため禁煙支援研修会を開催した。

検診機関の臨床検査技師、診療放射線技師等を対象とした検診従事職員研修会では、参加施設の代表者が発表等を行う参加型形式で開催し、検診機関職員等の積極性を促す研修となるよう努めた。

3 健康診査事業連絡調整事業

新潟県国民健康保険団体連合会から市町村国保及び県内3国保組合（医師国保、薬剤師国保、建築国保）の健診等実施に関する支援事業の委託を受けた。特に平成30年度からスタートした第3期特定健診の円滑実施に向けて、関係機関への周知及び連絡調整に努めた。

また、各種がん検診が健康増進法に基づき実施されており、市町村から検診に付随する業務の委託を受け、概ね当初の計画どおり事業を実施した。

4 健康情報管理事業

特定健診及び各種がん検診の健(検)診結果について統計分析を行い、全県、市町村別、検診機関別等の集計データを関係機関に還元し、各種健(検)診の精度管理に寄与した。

また、市町村からの申込みに基づき、各種(胃・子宮・乳・肺・大腸・前立腺)がん検診のデータ還元を実施した。

収益事業としては、県下459健診実施機関の委託を受けて特定健診結果の電子化代行処理を実施した。

5 疫学調査事業

検診で発見された「がん」又は「がんの疑い」と判定された者について、精検医療機関等の協力を得て、疫学調査を実施した。

また、追跡調査として3年後及び5年後の生存状況等について、関係市町村の協力を得て調査を実施し、疫学調査データの補完を行うとともに本県の検診精度の維持・向上に努めた。

6 がん登録事業

平成28年1月から施行された「がん登録推進法」に基づく「全国がん登録」について、県の委託により、関係医療機関の協力のもと情報収集事業を実施し、本県のがん対策の推進に寄与した。

7 脳卒中情報システム事業

県の委託により、市町村、医療機関からの情報提供を受けて集計・解析した報告書を作成した。併せて、関係者及び関係機関に対し情報のフィードバックを行った。

8 連携事業

(公財)日本対がん協会との連携については、同協会の後援により第35回がん征圧新潟県大会を開催し、多数の参加者を得て成果を収めた。県大会は、がん征圧運動の全県的な展開を図るため、上越市、長岡市、南魚沼市、新発田市に引き続き糸魚川市で「東北次世代がんプロ養成プラン」との共催事業として開催した。

また、日本対がん協会発行の子宮頸がん及び乳がん検診の無料クーポン券を主な検診機関を通じて配布し、がん検診の未受診者の掘り起しを図った。

〈 理事会等開催状況 〉

次のとおり開催し、付議事項について議決を行った。

第22回 定例理事会

期 日： 平成30年 6月13日（水）

場 所： 新潟県医師会館

議決事項： 第1号議案「平成29年度事業報告」について

原案どおり可決承認

第2号議案「平成29年度決算報告」について

原案どおり可決承認

第3号議案「定時評議員会へ提出する役員等候補者名簿」について

原案どおり可決承認

第4号議案「定時評議員会の開催日時及び場所並びに目的等」について

原案どおり可決承認

第23回 臨時理事会

期 日： 平成30年 6月29日（金）

場 所： 新潟県医師会館

議決事項： 第1号議案 代表理事（理事長）の選定について

原案どおり可決承認

第2号議案 業務執行理事の選定について

原案どおり可決承認

第3号議案 副理事長、専務理事及び常務理事の選定について

原案どおり可決承認

第24回 定例理事会

期 日： 平成31年 3月11日（月）

場 所： 新潟県医師会館

議決事項： 第1号議案「平成31年度事業計画の承認」について

原案どおり可決承認

第2号議案「平成31年度収支予算の承認」について

原案どおり可決承認

第16回 定時評議員会

期 日： 平成30年 6月29日（金）

場 所： 新潟県医師会館

議決事項： 第1号議案「平成29年度事業報告」について

原案どおり可決承認

第2号議案「平成29年度決算報告」について

原案どおり可決承認

第3号議案「役員等の選任」について

原案どおり可決承認

- 報告事項：（1）「平成30年度事業計画」について
（2）「平成30年度収支予算」について

平成29年度事業・決算監査

期 日： 平成30年5月30日（水）

場 所： 財団会議室

- 議 題：（1）平成29年度事業報告について
（2）平成29年度決算報告について

[公益目的事業]

I 特定健診・特定保健指導支援事業

「新潟県健診保健指導支援協議会」の構成団体として、受診率の向上等円滑な事業実施を図るため研修会等の開催、広告媒体を用いた広報、健診データの評価分析等を実施した。

1 会議・講演会等の開催

(1) 健康診査事業合同打合せ会 (Ⅱ がん検診等受託事業と共同事業)

平成31年度の健康診査事業等を円滑に推進するため、市町村、県健康福祉(環境)部、検診機関、郡市医師会等の担当者を対象として、県、県医師会、県国保連の協力により、次のとおり開催した。

期 日： 平成31年2月15日(金)

場 所： 新潟県自治会館 本館1階 講堂

出席者数： 104人

(2) 市町村と共同で開催する講演会 (Ⅱ がん検診等受託事業と共同事業)

生活習慣病(がんを含む)に関する正しい知識の普及と特定健診・特定保健指導及びがん検診の受診勧奨を目的として、次のとおり4市町で開催した。

<大腸がん予防講演会>

期 日： 平成30年6月24日(日)

場 所： ネーブルみつけ 研修室I

参加者： 60人

内 容： 講演「大腸がん検診を受けましょう」

講師 新潟大学医歯学総合病院

光学医療診療部 准教授

横 山 純 二

<慢性腎臓病予防講演会>

期 日： 平成30年10月3日(水)

場 所： 阿賀町公民館

参加者： 70人

内 容： 講演「腎臓にやさしい生活で良い腎生を」

講師 新潟大学腎・膠原病内科学教室 教授

成 田 一 衛

<慢性腎臓病予防講演会>

期 日： 平成30年10月16日(火)

場 所： 五泉市福祉会館

参加者： 30人

内 容： 講演「慢性腎臓病(CKD)の基礎知識」

講師 新潟大学大学院医歯学総合研究科

腎医学医療センター 特任教授

丸 山 弘 樹

<糖尿病予防講演会>

期 日： 平成30年10月31日（水）

場 所： 十日町市中里支所

参加者： 20人

内 容： 講演「こうして防ごう！こわ～い糖尿病」

講師 新潟県労働衛生医学協会 副会長 佐藤 幸示

(3) 中学生に対する生活習慣病予防等教育（Ⅱ がん検診等受託事業と共同事業）

中学生に対し、がんをはじめとした生活習慣病についての基礎知識や検診の重要性について普及啓発を行った。

期 日： 平成30年6月20日（水）

場 所： 三条市立大島中学校

出席生徒数： 76人

内 容： 「がん」という病について

講 師： 新潟県立加茂病院 院長 秋山 修宏

期 日： 平成30年9月20日（木）

場 所： 新発田市立豊浦中学校

出席生徒数： 120人

内 容： 「がん」について考えてみませんか？

講 師： 新潟大学大学院医歯学総合研究科
消化器・一般外科学分野 准教授 亀山 仁史

期 日： 平成30年10月29日（月）

場 所： 新発田市立加治川中学校

出席生徒数： 108人

内 容： 泌尿器科がんについて

講 師： 厚生連長岡中央総合病院 泌尿器科医長 信下 智広

期 日： 平成30年11月2日（金）

場 所： 糸魚川市立青海中学校

出席生徒数： 64人

内 容： “がん”と放射線治療

講 師： 新潟大学大学院医歯学総合研究科
放射線医学 教授 青山 英史

期 日： 平成30年11月16日（金）
場 所： 糸魚川市立糸魚川中学校
出席生徒数： 422人
内 容： がんを知る、そして身を守る
講 師： 新潟県立中央病院 内科 内視鏡センター長 船 越 和 博

(4) 健診委員会

新潟県健診保健指導支援協議会が設置した特定健診に関する事項を検討する健診委員会（委員長 新潟県立大学人間生活部・健康栄養学科教授 田邊直仁）を運営し、平成31年度特定健診料金（案）について協議した。

2 特定健診データ等の評価分析等

市町村国保等の健康施策の作成等に資するため、特定健診等の結果集計報告を基に、全県的な分析を行い、市町村比較が容易となるよう資料を作成し市町村に提供した。

3 特定健診・特定保健指導の普及啓発及び受診率向上のための事業等

(1) 広告媒体を用いた普及啓発等（Ⅲ 生活習慣病予防普及啓発事業と共同事業）

<ラジオコマーシャル>

5月から11月までの間、生活習慣病予防啓発及び特定健診、がん検診の受診勧奨を目的として、週3回コマーシャルを放送した。

<ラジオ番組>

B S Nラジオ番組「ゆうなびラジオ」内で全4回のコーナー（1回約5分間）を放送した。

第1回 むし歯の最新病因論

第2回 むし歯の現状と実態

第3回 むし歯治療の現状

第4回 むし歯とむし歯治療の行方

講師：新潟大学大学院医歯学総合研究科

口腔生命科学専攻 口腔健康科学教授 野 杵 由一郎

(2) 普及啓発用パンフレットの配付

特定健診受診勧奨用パンフレットを市町村国保、県内3国保組合へ配付した。また、イベント参加者にパンフレットを配布した。

(3) 普及啓発用（貸出用）備品整備（Ⅲ 生活習慣病予防普及啓発事業と共同）

市町村等の関係機関に対し、生活習慣病予防に関するタペストリー、機器等の健康教育資材の貸出を行った。（貸出件数 34件）

(4) 各種健康づくりイベントへの参加 (Ⅱ がん検診等受託事業と共同)

24時間テレビチャリティブースのイベントに出展し、参加者に対し特定健診及びがん検診等の普及啓発を図った。

期 日： 平成30年8月25日(土)、26日(日)

場 所： 万代シティ歩行者天国

参加者： 500人

内 容： 血管年齢測定、乳がん触診体験、歯周疾患チェック、
受診勧奨用パンフレット配布等

4 特定健診・特定保健指導委託契約に係る事務

特定健診・特定保健指導を全県統一方式で推進するため、本財団が特定健診・特定保健指導実施機関の契約代表者となって、業務委託契約を締結した。

5 印刷物の企画、印刷・配付等

(1) 特定健診個人記録票、質問票、連名簿等の印刷

大量印刷することによるコストダウンを図るため、健(検)診ガイドラインに掲載されている様式について市町村等の必要部数を取りまとめた上、一括印刷を行い配付した。

(2) 特定健診・特定保健指導受診勧奨用ポケットティッシュの配布

特定健診・特定保健指導受診勧奨用にポケットティッシュ(30万個)を市町村等に配付した。

6 新潟県健診保健指導支援協議会構成団体共同事業

新潟県健診保健指導支援協議会の構成団体と特定健診の普及啓発及び受診勧奨を図るため、受診勧奨用パンフレット(5,000部)を作成し、各構成団体に配付した。

Ⅱ がん検診等受託事業

1 健康診査事業連絡調整事業

(1) 市町村健康診査等担当者研修会の開催

健康診査事業の円滑な推進を図るため、健康増進法及び高齢者の医療の確保に関する法律等の業務に従事する新任担当者等に対し、次のとおり研修会を開催した。

期 日： 平成30年5月22日(火)

場 所： 新潟県医師会館

出席者数： 38人

(2) 健康診査事業に関する合同打合せ会の開催 (Ⅰ 特定健診・特定保健指導支援事業と共同)

(3) がん検診並びに肝炎ウイルス要指導者等施設検診実施に係る業務

新潟県の「健(検)診ガイドライン」に基づき、全県統一方式で実施されるがん検診並びに肝炎ウイルス要指導者等施設検診を実施する上での問題点を把握し、全県的な取りまとめ及び検討、並びに検診事業を円滑に実施するためのコーディネート等を行った。

() 内は平成29年度実績

ア 胃がん検診

契約市町村数	30	(30)
受診者数	83,790人	(87,978人)

イ 子宮がん検診

車 検 診

契約市町村数	26	(27)
受診者数	27,799人	(28,744人)

施 設 検 診

契約市町村数	28	(28)
受診者数	21,378人	(21,703人)

体がん検診

契約市町村数	4	(6)
受診者数	604人	(853人)

ウ 肺がん検診

X線写真読影

契約市町村数	30	(30)
受診者数	213,200人	(216,847人)

喀 痰 検 査

契約市町村数	30	(30)
受診者数	4,718人	(5,547人)

エ 乳がん検診

集団(マンモ)

契約市町村数	28	(30)
受診者数	49,418人	(51,968人)

施設(マンモ)

契約市町村数	18	(15)
受診者数	12,103人	(11,475人)

施設(視触診)

契約市町村数	1	(1)
受診者数	4人	(6人)

オ 大腸がん検診

契約市町村数	30	(30)
受診者数	130,333人	(132,509人)

カ 肝炎ウイルス二次検診

契約市町村数	2	(2)
受診者数	546人	(630人)

キ 前立腺がん検診

契約市町村数	12	(13)
受診者数	8,534人	(8,306人)

2 がん登録事業

県の委託により関係医療機関への届出用CD-R等の配付、がん登録情報の收受など、がん対策を効果的、効率的に推進するための情報収集事業を行った。

()内は平成29年度実績

登録票受付件数	29,991件	(29,298件)
届出医療機関数	157機関	(128機関)

3 検診結果統計分析事業

下記に記載の各種がん検診の検診結果について、全県的な統計分析を行い市町村等関係者に結果報告書を作成し配付した。

・胃がん検診	83,790件
・子宮がん検診	49,177件
・肺がん検診 (胸部)	213,200件
・ 〃 (喀痰)	4,718件
・乳がん検診	61,525件
・大腸がん検診	130,333件
・前立腺がん検診	8,534件

4 がん検診データ還元事業

希望市町村に対し個人の検診結果を電子データで還元した。

がん検診データ還元 () 内は平成29年度実績

・胃がん検診実施市町村数	3	(3)
・子宮がん検診実施市町村数	3	(3)
・乳がん検診実施市町村数	3	(3)
・肺がん検診実施市町村数	3	(3)
・大腸がん検診実施市町村数	3	(3)
・前立腺がん検診実施市町村数	1	(1)

5 がん検診データ等一元化事業

県内で実施されている事業所検診等の健(検)診の実態把握が不十分であり、健(検)診事業の全体把握ができない現状であることから、がん検診結果について県検診機関協議会の協力を得て、事業所検診等の任意型検診の結果を収集し分析した。

6 疫学調査事業

平成29年度の各種(胃・子宮・肺・乳・大腸)がん検診結果に基づき「がん」又は「がんの疑い」と診断された者に対する疫学調査を実施した。

また、平成27年度実施分の結果を取りまとめ「集検から発見された胃がん」「集検から発見された肺がん」として報告書を作成し、関係者に配付した。

さらに、疫学調査により報告された患者に対する追跡調査(平成25年度・平成27年度がん検診受診者)を実施した。

	(平成29年度分) 疫学調査	(平成25年度・平成27年度分) 追跡調査
・胃がん検診実施件数	205件	403件
・子宮がん検診実施件数	123件	158件
・肺がん検診実施件数	389件	295件
・乳がん検診実施件数	149件	373件
・大腸がん検診実施件数	389件	721件

7 精度管理調査事業

伝統ある新潟県の健(検)診及び検診実施機関の質の向上を図り、県民に“安心”して健(検)診を受診してもらうため、「新潟県検診精度管理調査委員会」において、県検診機関協議会員を対象とした実態調査を行った。

8 研究研修事業

(1) 新潟県がん検診研究会

新潟県がん検診研究会(会長 青山英史 新潟大学教授)の事業を実施した。

会員数	個人 16人	団体 78団体
平成30年 8月2日(木)	運営委員会	新潟県医師会館
9月3日(月)	第1回理事会	新潟県医師会館
平成31年 2月25日(月)	第2回理事会	書面協議

第30回新潟県がん検診研究会総会を次のとおり開催した。

期 日： 平成30年12月21日(金)
場 所： 新潟県医師会館
参加者： 61人
内 容：
ア 講演1 「乳がん検診を巡る話題」
講 師 新潟県立がんセンター新潟病院院長 佐藤 信 昭
座 長 新潟大学大学院医歯学総合研究科放射線医学教授
新潟県がん検診研究会長 青 山 英 史
イ 講演2 「膵臓がんの予後改善をめざして」
講 師 新潟大学医歯学総合病院 消化器内科 病院助教
林 和 直
座 長 新潟ウェルネス検診センター所長
新潟県がん検診研究会理事 月 岡 恵

(2) 新潟県糖尿病対策推進会議

新潟県糖尿病対策推進会議(会長 渡部 透 新潟県医師会長)の事業を実施した。

会員数	個人 24人	団体 66団体
平成30年 7月25日(水)	第1回幹事会	本財団
8月27日(月)	第1回理事会	新潟県医師会館
9月30日(日)	糖尿病ウォークラリー	長岡赤十字病院
平成31年 3月7日(木)	第2回幹事会	本財団
3月19日(火)	第2回理事会	書面協議

第5回新潟県糖尿病対策推進会議総会を次のとおり開催した。

期 日： 平成30年11月29日(木)
場 所： 新潟県医師会館
参加者： 19人
内 容：
特別講演 「非感染性疾患(NCDs)に対する歯科の役割」
講 師 新潟県歯科医師会 常務理事 木 戸 寿 明

新潟県糖尿病対策推進会議特別講演会を「新潟県糖尿病療養指導士」の認定更新研修会として次のとおり開催した。

期 日： 平成30年12月13日（木）

場 所： 新潟ユニゾンプラザ

参加者： 56人

内 容：

ア 講演 「新潟県での糖尿病性腎症重症化予防への取り組み」

講 師 新潟大学医学部医学科 病態栄養学講座

特任准教授 細 島 康 宏

座 長 長岡中央総合病院 糖尿病センター長 八 幡 和 明

イ 特別講演 「日本糖尿病学会の糖尿病総合対策 DREAMS」

講 師 日本糖尿病学会 理事長 門 脇 孝

座 長 新潟大学大学院医歯学総合研究科

血液・内分泌・代謝内科学分野 教授 曾 根 博 仁

（3）新潟県検診機関協議会

検診事業を実施する24団体で構成されている新潟県検診機関協議会の事業を実施した。

平成30年 5月2日（水）第1回常任幹事会	新潟県医師会館
5月8日（火）第1回役員会	書面協議
6月4日（月）定例総会	新潟県医師会館
11月18日（日）福祉・介護・健康フェア2018出展	朱鷺メッセ
平成31年 1月28日（月）第2回常任幹事会	新潟県医師会館
2月26日（火）検診従事職員研修会 （詳細は23頁参照）	アートホテル新潟駅前
3月12日（火）フォローアップ研修会	新潟県医師会館
3月12日（火）風しんの追加的対策に係る説明会	新潟県医師会館
3月25日（月）第2回役員会	書面協議

9 新潟県肺がん検討委員会並びに地域肺がん検討委員会

新潟県肺がん検討委員会並びに地域肺がん検討委員会(12地域)において、肺がん検診の円滑な実施及び運営を図るとともに「県生活習慣病検診等管理指導協議会」の肺がん検診部会との連携を図った。

新潟県肺がん検討委員会

委 員 長 新潟大学大学院医歯学総合研究科
放射線医学 教授 青 山 英 史

委 員 8人

地域肺がん検討委員会（12地域）

（設置地域） 新潟・村上・新発田・五泉・三条・長岡・魚沼・南魚沼・十日町
柏崎・上越・佐渡

新潟県肺がん検討委員会・地域肺がん検討委員会合同会議を次のとおり書面協議により開催した。

期 日： 平成31年3月25日（月）

議 題：

- （1）委員の交代について
- （2）平成29年度肺がん検診結果報告について
- （3）平成28年度肺がん疫学調査・追跡調査について
- （4）平成29年度地域肺がん検討委員会開催状況について

10 新潟県乳がん検討委員会並びに地域乳がん検討委員会

新潟県乳がん検討委員会並びに地域乳がん検討委員会（5地域）において、「県生活習慣病検診等管理指導協議会」の乳がん検診部会との連携により乳がん検診の円滑な実施及び運営を行った。また、普及啓発を中心に活動を行う「新潟はっぴー乳ライフ」の事業を実施した。

新潟県乳がん検討委員会

委 員 長 新潟県立がんセンター新潟病院院長 佐藤 信 昭

委 員 16人

地域乳がん検討委員会（5地域）

（設置地域） 新潟・下越・中越・魚沼・上越

新潟県乳がん検討委員会・地域乳がん検討委員会合同会議を次のとおり開催した。

期 日： 平成30年11月6日（火）

場 所： 新潟県医師会館

議 題：

- （1）委員の交代について
- （2）平成29年度乳がん検診結果報告等について
- （3）平成28年度乳がん疫学調査結果報告について
- （4）平成29年度地域乳がん検討委員会の開催状況について
- （5）乳がん検診セミナーの開催について
- （6）その他

また、企画委員会を次のとおり開催した。

委 員 長 新潟県立がんセンター新潟病院院長 佐藤 信 昭

委 員 8人

期 日： 平成30年9月28日（金）

場 所： 新潟県医師会館

議 題：

- (1) 乳がん検診セミナーの内容について
- (2) その他

新潟はっぴー乳ライフ事業

平成30年 5月22日 (火)	第1回実行委員会	がん予防総合センター
7月24日 (火)	第2回実行委員会	〃
9月18日 (火)	第3回実行委員会	〃
12月 4日 (火)	第4回実行委員会	県立がんセンター新潟病院
平成31年 3月 6日 (火)	第5回実行委員会	がん予防総合センター

「ピンクリボンホリデー2018」を次のとおり開催した。

期 日： 平成30年10月21日 (日)

場 所： 岩室地区公民館

参加者： 345人

内 容：

リレー講座「みんなで学ぼう 乳がんのこと」

司会 まきの乳腺クリニック 院長 牧野春彦

講座(1) 「知りたいところがまるわかりー乳がんってどんな病気?ー」

済生会新潟第二病院 外科部長 田邊 匡

(2) 「マンモグラフィ検診について」

新潟県労働衛生医学協会 岩室健康増進センター

診療放射線技師 金子聡子

(3) 「乳がんを防ぐためにー食事は?運動は?ー」

新潟大学医学部保健学科看護学専攻 教授

小山 諭

「がん治療と就労両立支援セミナー」を次のとおり開催した。

期 日： 平成30年11月17日 (土)

場 所： 新潟市民プラザ

参加者： 78人

内 容：

(1) 体験談「治療と仕事の両立、私たちの選択」

発表者 あげぼの新潟 帆 莉 き い / 塚 田 真 紀 / 榎 本 美 貴

(2) シンポジウム「がん治療と就労の両立の実現に向けて」

司会 新潟産業保健総合支援センター 所長 興 梶 建 郎

シンポジスト

あけぼの新潟 帆 莉 き い / 塚 田 真 紀 / 榎 本 美 貴
新潟青陵大学看護学部看護学科 教授 中 平 浩 人
県立がんセンター新潟病院地域連携・相談支援センター
副センター長 田 村 恵 美 子
元パナソニック健康保険組合 保健師 小 坂 智 恵 子
新潟産業保健総合支援センター 両立支援促進員
酒 井 和 美

11 新潟県前立腺がん検討委員会

新潟県前立腺がん検討委員会において、前立腺がん検診の円滑な実施及び運営を図るとともに「県生活習慣病検診等管理指導協議会」の胃がん・大腸がん検診部会(前立腺がん検診の内容含む)との連携を図った。

新潟県前立腺がん検討委員会

委 員 長 新潟大学大学院医歯学総合研究科
腎・泌尿器病態学分野 教授 富 田 善 彦

委 員 12人

前立腺がん検討委員会を次のとおり開催した。

期 日： 平成31年3月9日(土)

場 所： 本財団

議 題：

- (1) 平成30年度 新潟県生活習慣病検診等管理指導協議会
における前立腺がん検診関係資料等について
- (2) 新潟県の前立腺がん検診について
- (3) その他

12 フレイル克服プロジェクト

平成28年10月から県の委託により本財団が「フレイル克服プロジェクト」の事務局となり、「疾病介入モデル事業」と「加齢予防介入モデル事業」を両輪とし、関係機関からの協力を得て事業を実施した。

平成30年6月6日(水) 疾病介入モデル事業実施報告会

9月7日(金) 「フレイルってなに？」講演会(関川村)

9月11日(火) 加齢予防介入モデル事業(小千谷市)

12月8日(土) 第736回新潟医学会総会

「フレイルとサルコペニア」シンポジウム

12月14日(水) 加齢予防介入モデル事業(小千谷市:2回目)

平成31年1月8日(火) 平成31年度新潟県フレイル対策事業打合せ会

13 中学生に対する生活習慣病予防等教育（I 特定健診・特定保健指導支援事業と共同）

14 市町村と共同で開催する講演会（I 特定健診・特定保健指導支援事業と共同）

15 広告媒体を用いた啓発・普及等

＜受診勧奨電子広告＞

6月から7月の2カ月間、県内エリアのJR電車内のモニター（トレインチャンネル）にがん検診の受診勧奨電子広告を放映した。

16 肝炎対策の普及啓発

地域及び職域に対し、B・C型肝炎ウイルス感染の早期発見・早期治療に繋げる啓発のため、講演会及び市民公開講座を開催するとともに、新潟商工会議所が主催した「いきいき健康セミナー」における“肝炎ウイルス”に関するセミナーの円滑な開催実施を支援した。

＜職域向けの肝炎講演会＞

期 日： 平成30年5月31日（木）

場 所： 株式会社BSNアイネット

参加者： 90人

内 容： 講演 「肝炎について～自分自身の肝炎ウイルス検査の結果を知っていますか？～」

講師 新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野
特任助教 坂 牧 僚

＜市民公開講座＞

期 日： 平成30年7月28日（土）

場 所： 南魚沼市民会館

参加者： 60人

テーマ： 肝がん撲滅運動

講演 「無料肝炎検査についての案内」

講師 新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野
特任助教 坂 牧 僚

講演 「肝臓のはたらきについて」

講師 新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野
特任助教 上 村 博 輝

講演 「ウイルス性肝炎について」

講師 新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野
特任助教 横 尾 健

講演 「脂肪肝について～肥満、アルコールと肝臓病の関係～」

講師 新潟県立十日町病院 診療部長 兼 藤 努

- 講演 「魚沼地域での疾患について」
 講師 米倉医院 院長 米 倉 研 史
- 講演 「肝硬変について～新規治療も含めて～」
 講師 新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野
 講師 土 屋 淳 紀
- 講演 「肝細胞癌について」
 講師 新潟大学大学院医歯学総合研究科 消化器内科学分野
 講師 上 村 顕 也

Ⅲ 生活習慣病予防普及啓発事業

1 生活習慣病予防普及啓発事業

(1) 生活習慣病予防事業功労者表彰

「公益財団法人新潟県健康づくり財団功労者表彰要領」に基づき、生活習慣病予防活動に功労のあった方々に表彰を行った。

期 日： 平成30年10月12日（金）

場 所： 糸魚川市民会館 大ホール

受賞者：

ア 保健文化賞受賞記念特別表彰

該当なし

イ 公益財団法人新潟県健康づくり財団理事長表彰

個人 小 林 勲 医 師

廣 神 俊 彦 //

上 村 伯 人 //

島 影 尚 弘 //

安 藤 隆 夫 //

梅 澤 百合子 保 健 師

団体 該当なし

(2) 生活習慣病予防展開催

生活習慣病の正しい知識の普及、各種検診の受診率の向上、健康づくりの実践定着を図る目的で関係機関との共催により「生活習慣病予防展」を開催した。

期 日： 平成30年10月12日（金）

場 所： 糸魚川市民会館 エントランスロビー

(3) 機関紙発行

健康増進に関する論評、研究成果、その他普及啓発活動の状況及び統計資料等を内容とした機関紙「陽光」を3回発行し、市町村(公民館を含む)をはじめ関係団体、がん征圧維持会員等に配付しPRに努めた。

第21号： 平成30年7月31日発行

「健康になる医学的に正しい安全入浴方法とは？」

東京都市大学人間科学部教授・博士（医学）・温泉療法専門医

早坂信哉

「咀嚼とメタボ予防」

新潟大学大学院医歯学総合研究科 包括歯科補綴学分野 教授

小野高裕

第22号： 平成30年11月30日発行

「新潟県で行われている最新の放射線治療について」

新潟大学医歯学総合病院 放射線治療科（教授、放射線治療科長）

青山英史

「生活習慣病としての冠動脈疾患と包括的管理の重要性」

月潟内科クリニック 院長 廣野 暁

「ピンクリボンホリデー2018 リレー講座」

まきの乳腺クリニック 院長 牧野春彦

ほか講師3名

第23号： 平成31年3月31日発行

「中高年者の健康スポーツの留意点」

新潟医療福祉大学健康科学部健康スポーツ学科 教授 大森 豪

「がん患者に迫る心臓病のNew Epidemic」

Onco-cardiologyは既実践されているが体系化はこれから」

新潟県立がんセンター新潟病院 腫瘍循環器科 大倉裕二

（4）健康教育資材等の提供（I 特定健診・特定保健指導支援事業と共同）

（5）広報活動

＜新聞広告等＞

10月と11月に新潟日報朝刊にがん征圧新潟県大会の開催案内及び講演録を掲載し、がん予防の普及啓発を行った。

＜フリーペーパー広告＞

子育て世代の女性を主なターゲットに、フリーペーパー「はっぴーママ」に3回にわたり受診勧奨の広告を掲載した。

6月25日発行分： 乳がん

8月25日発行分： 子宮頸がん

10月25日発行分： 肝炎ウイルス

2 脳卒中情報システム事業

県の委託により、医療機関からの退院時情報提供及び脳卒中発症調査票並びに市町村からの脳卒中調査票を収集し、審査・集計・解析の上、報告書を関係機関に配付した。

退院時情報提供受理件数	554件	提出医療機関数	7施設
脳卒中調査票受理件数	384件	提出市町村数	18市町村
脳卒中発症調査受理件数	664件	提出医療機関数	54施設

IV (公財)日本対がん協会との連携事業

1 がん予防普及事業

(公財)新潟県健康づくり財団 がん征圧維持会員募金状況

維持会員募金の実績は次のとおりである。

・ 法人会員	自治体会員	30市町村	1,225,000円
	医師会会員	16団体	400,000円
	検診団体会員	24団体	240,000円
	一般法人会員	46団体	460,000円
・ 個人会員		48人	199,000円
	(合 計		2,524,000円)

2 広報活動

ポスター・リーフレットの配布	(部数)
ポスター「がん征圧月間」	360枚
ポスター「禁煙推進」	360枚
リーフレット「がん検診」	1,000部
リーフレット「乳がんのセルフチェック」	1,500部

3 第35回がん征圧新潟県大会

県民にがんに対する正しい知識の普及を図り、定期的な検診による早期発見・早期治療の重要性をPRし、がん撲滅の誓いを新たにするため関係機関の協力のもと次のとおり開催した。

なお、新潟大学等が参画している「東北次世代がんプロ養成プラン」との共催により開催した。

期 日：	平成30年10月12日（金）
場 所：	糸魚川市民会館 大ホール
参加者：	410人

内 容：

(1) 式 典

(2) 体験談「“がん”のち、晴れ 「キャンサーギフト」という生き方」

講 師 新潟医療福祉大学社会福祉学部 社会福祉学科准教授

五十嵐 紀子

(3) 特別講演 「胃がんを早期に見つけるには？早期発見のメリット」

講 師 新潟大学医学部 健康寿命延伸・消化器疾患先制医学講座

特任准教授 橋 本 哲

(4) アトラクション

IHKチアリーディング

4 無料クーポン券の配布

日本対がん協会発行の子宮頸がん及び乳がん検診の無料クーポン券を主な検診機関を通じて配布し、がん検診の受診促進を図った。(配布部数 175部)

5 (公財) 日本対がん協会関東甲信越支部連絡協議会

各県支部(茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、神奈川、山梨、長野及び新潟)の連携を密にするとともに日本対がん協会と協力し、がん対策及び支部運営の拡充強化を図ることを目的として、本年度は本財団が当番県として会議を次のとおり開催した。

期 日： 平成30年10月19日(金)

場 所： ANAクラウンプラザホテル新潟

参加者： 33人(本部及び8支部)

議 題：

- (1) 後期高齢者に対する運動機能等測定について
- (2) 胃がん検診(バリウム検査)の実施状況と対策について
- (3) 胃がん検診(X線)の対象年齢・受診制限について
- (4) 市町村で実施する対策型検診における胃内視鏡検査の実施運営について
- (5) 職域検診におけるマンモグラフィ検査への対応について
- (6) マンモ検診における読影(主に外部読影)方法について
- (7) 視触診無しの乳がん検診について
- (8) 今後のがん検診について
- (9) 胸部検診デジタル画像管理運用について
- (10) 大腸がん検診(採便容器の回収等)について
- (11) 市町村におけるがん検診の追跡調査について
- (12) がん検診精検結果回収率の向上について
- (13) 各がん検診の最低保証料金について
- (14) デジタルマンモグラフィ装置(検診車)の故障防止対策について
- (15) 検診車の冷房装置の設置状況について

V 研究研修事業

1 細胞検査士研修会の開催

肺がん検診及び子宮がん検診の受診拡大及び精度向上を図るため、細胞検査士の資
質向上を目的として、県の委託により研修会を次のとおり開催した。

期 日： 平成30年8月17日（金）、18日（土）

場 所： 新潟県医師会館

参加者： 86人

内 容：

（1）鏡検 「治療方針に影響する子宮細胞診を極める」

（2）スライドセミナー

症例検討「治療方針に影響する子宮細胞診を極める」

座 長 新潟県立がんセンター新潟病院 婦人科部長 菊 地 朗

講 師 新潟県立中央病院 副院長 大 野 正 文

済生会三条病院 婦人科医長 野 田 誠 子

産科婦人科 山田医院 院長 山 田 潔

2 乳がん検診セミナー

本県の乳がん検診事業をより円滑に推進するため、実施体制の整備充実と検診精度
向上に資することを目的として、県の委託により次のとおり開催した。

期 日： 平成31年2月8日（金）

場 所： 新潟ユニゾンプラザ

参加者： 111人

内 容：

（1）ミニレクチャー「市町村や検診機関が困っていることに対する専門医の
アドバイス」

司 会 新潟県立がんセンター新潟病院 乳腺外科部長

神 林 智寿子

（2）特別講演「乳がん検診の受診勧奨の仕方、受診率を向上させるために」

講 師 国立がん研究センター 保健社会学研究部 室長

溝 田 友 里

座 長 新潟県立がんセンター新潟病院 院長

佐 藤 信 昭

3 胃がん検診セミナー

本県の胃がん検診事業をより円滑に推進するため、実施体制の整備充実と検診精度
向上に資することを目的として、県の委託により次のとおり開催した。

期 日： 平成31年2月21日（木）

場 所： 新潟県医師会館

参加者： 73人

内 容：

座 長 新潟県立新発田病院 院長 塚 田 芳 久

講演1 「胃がんの内科的診断と治療について」

講 師 新潟県立がんセンター新潟病院 臨床部長 成 澤 林太郎

講演2 「胃がんの外科的治療について」

講 師 新潟県立がんセンター新潟病院 消化器外科部長

藪 崎 裕

4 検診従事職員研修

診療放射線技師、臨床検査技師、細胞検査士、保健師等、生活習慣病検診に従事する職員の資質及び技術の向上を図る目的で、新潟県及び新潟県検診機関協議会と共催で次のとおり開催した。

期 日： 平成31年2月26日（火）

場 所： アートホテル新潟駅前

参加者：	合同研修	110人
	第一分科会 特定健康診査部門	81人
	第二分科会 診療放射線部門	53人
	第三分科会 細胞検査部門	20人
	計	264人

（実人員 156人）

内 容：

（1）合同研修

講 演 「解剖学と顕微鏡」

講 師 新潟大学副学長 顕微解剖学分野 教授 牛 木 辰 男

（2）分科会

ア 第一分科会 特定健康診査部門

施設発表「各施設からのアンケート結果について」

発表者 新潟県労働衛生医学協会 情報処理部 部長代理

山 浦 裕 美

講演1 「心電図検査から読み解く」

講 師 新潟南病院 内科・リハビリテーション科 部長

小 幡 裕 明

講演 2 「健診機関の検査室に求められる精度保証について」

講 師 新潟医療福祉大学 医療技術学部臨床技術学科 教授

久保野 勝 男

イ 第二分科会 診療放射線部門

施設発表 1 「診断参考レベルと胸部撮影条件の再検討」

発表者 新潟県保健衛生センター 保健部健診 2 課 主任

武 田 繁 春

施設発表 2 「胃部撮影における放射線技師スキルアップ

～精度向上をめざして～」

発表者 新潟県労働衛生医学協会 健診部 星 野 裕 文

施設発表 3 「胃がん・乳がん検診における禁忌事項の認識統一に
向けての提案」

発表者 新潟県保健衛生センター 県央メジカルセンター放射線

係長 井 熊 順 一

新潟県労働衛生医学協会 健診部 主査 高 橋 和 範

厚生連長岡中央総合病院 主任診療放射線技師

丸 山 小百合

講 演 「乳がん検診における高濃度乳房通知と良性所見情報の現況」

講 師 済生会新潟第二病院 外科部長

田 邊 匡

ウ 第三分科会 細胞検査部門

症例検討会 「子宮頸がん検診における腺異型の細胞診」

助 言 新潟県立がんセンター新潟病院 臨床検査部 病理部長

渡 邊 玄

司 会 新潟県保健衛生センター 保健部 副部長

井 上 博 子

症例提供者

上越地域総合健康管理センター 健診検査課 係長

江 村 敦 子

厚生連長岡中央総合病院 病理部

片 桐 丘 充

下越総合健康開発センター 病理・細胞診検査課 係長

板 垣 由香里

新潟県保健衛生センター 検査課 技師

山 本 佳 奈

講 演 「子宮頸部腺系病変について」

講 師 新潟県立がんセンター新潟病院 臨床検査部 病理部長

渡 邊 玄

5 禁煙支援研修会

本県の禁煙支援を効果的に推進する人材を養成することを目的として、県の委託により研修会を開催した。

期 日： 平成31年3月20日（水）

場 所： 新潟県医師会館

参加者： 35人

内 容：

座 長 新潟県労働衛生医学協会 医師 三 間 聡

講演1 「禁煙支援薬剤師養成の取り組み」

講 師 新潟市薬剤師会 薬局業務委員会 禁煙支援薬剤師養成班 班長
足 立 泰 儀

講演2 「歯周病と喫煙～アクティブライフのための卒煙・禁煙～」

講 師 新潟県歯科医師会 理事 有 松 美紀子

[収益事業等]

1 特定健診結果電子化代行事業

特定健診料金の請求処理業務を迅速化するため、特定健診結果の電子化業務を健診実施機関から受託し請求業務を代行した。

() 内は平成29年度実績

特定健診結果電子化代行処理業務 75,831件 (75,500件)

2 特定健診結果個人結果通知書作成事業

特定健診等個人結果通知書の作成依頼があった健診実施機関又は保険者に対し、受診者の特定健診等結果を作成し提供した。

() 内は平成29年度実績

特定健診個人結果通知書作成業務 2,029件 (2,056件)

事業報告附属明細書

平成30年度は「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、定款第12条第1項第2号に規定する事業報告の附属明細書は作成しない。